

在宅でがん患者を看取る取り組み

ふじ内科クリニック
院長 内藤 いづみ

初めての在宅ホスピスケア

- ◆ 1983年(昭和58年)
- ◆ 大学病院入院中の23才の女性末期がん患者

Q. あなたは今、何をしたいですか？

A. 家に帰りたくたいです。

答えをもらうために

1. 情報を確かに伝える
→ 信頼のもとに
2. 選んでもらう

治療は？

どこですぐす？

どうすぐしたい？

進行がん患者が家で 安心してすごすためには

◆ こんな医療者のサポートが必要

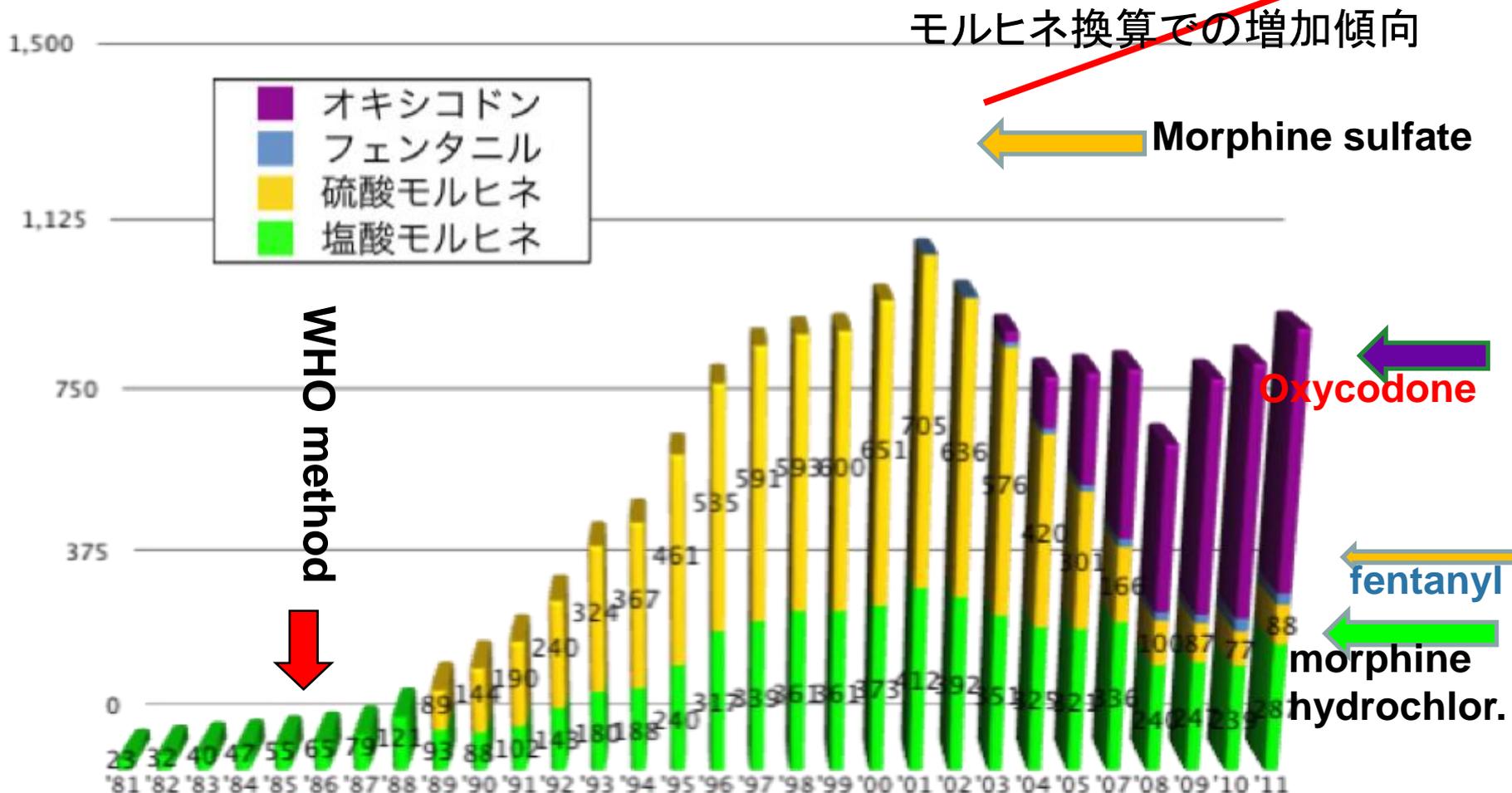
1. がんの痛みの緩和が必ずできる医療者
2. 24時間オンコールの体制
3. 家族を含めた全人的痛み（トータルペイン）
に向かい合う医療者

年間消費量2009年 (WHO)

	Morphine	Oxycodone	Fentanyl
アメリカ	23,403	62,380	583
ドイツ	1,852	2,091	202
英国	3,946	2,422	?
フランス	2,137	?	73
日本	341	460	30

麻薬指定の鎮痛薬の年間消費量の推移(日本)

(kg/year)



スコットランドでみた ホスピスムーブメント

- ◆ **ホスピスムーブメント(1986～1991年)**
 - がん患者の選択を支えるシステムがある
 - どのがんステージでも幸せに生きる道がある

現在の問題点と課題

1. 疼痛緩和の知識と実践力の不足
2. 治癒への大きすぎる期待
3. 在宅へ戻るのではなく**戻される**という敗北感
4. 連携の不足
5. 高齢者、特に認知症がん患者の増加。

地域差が広がっている

病気になったら……

医療

介護が必要になったら……

介護

- 急性期病院
- 亜急性期回復期リハビリ病院

- 日常の医療：
- かかりつけ医
 - 地域医療連携センター

- 在宅系サービス
 - 訪問介護
 - 訪問看護
 - 通所介護
 - 小規模多機能型居宅介護
 - 短期入所生活介護
 - 24時間対応の訪問サービス
 - 複合型サービス(小規模多機能型居宅介護+訪問看護)等

- 地域包括支援センター
 - ケアマネジャー
- 相談業務やサービスのコーディネートを行います。

いつでも元気で暮らすための……
生活支援・介護予防

- 介護予防サービス
 - 施設・居住系サービス
 - 介護老人福祉施設
 - 介護老人保健施設
 - 認知症共同生活介護
 - 特定施設入所者生活介護
- 等

自分のいのち 相手のいのち
周りのいのち 自然のいのち
地球のいのち 星のいのち

いのち

すべてのいのちに向かい合い
感謝すること……ありがとう

地域包括ケアシステムは、おおむね30分以内に必要なサービスが提供される日常生活圏域（具体的には中学校区）を単位として想定

2025年の地域包括ケアシステムの姿

まとめ

- ◆ がんの研究（治癒・予防）の推進
- ◆ 治療成績の公開の強化
→ 患者が選択するために必須
- ◆ 患者の選択と尊厳をサポートする体制の強化
- ◆ 医学部教育の在宅ケア、緩和ケアの強化

最後に

どの選択をしても
幸せに生きる道はある

